

特集



“未来に架ける人の輪・音の輪”

第6回 津山国際総合音楽祭

～ グスタフ・マーラー、そして彼方に... ～



オープニング・コンサート

津山国際総合音楽祭

「未来に架ける人の輪・音の輪」をテーマに3年に1度開催される音楽祭。今年には津山城築城400年記念事業イベントとして、4年ぶりの開催となりました。

9月20日から10月5日まで、秋の津山を音のハーモニーで包み込んだ16日間。

期間中は、ベルフォーレ津山を主会場として、クラシックからロック・民謡・ミュージカルのほか、さまざまなジャンルのステージが催され、プロ367人、アマ1、665人が出演しました。
各会場には延べ1万4、900人余りの人たちが訪れ、美しい音楽に魅了されました。

特集

”未来に架ける人の輪・音の輪“
第6回 津山国際総合音楽祭

音楽に打ち込み、音楽を奏でる



Daffy Dinosaur

ロック・コンサート



Wizard



泉洲流雄心吟詠会



都山流尺八美琳会

日本音楽コンサート



音の城まつり

野外では、「音の城まつり」も同時開催されました。

合唱・室内楽コンサート



男声コーラス「男.ディース」

赤松圭介さん(小原)「平均年齢70歳の中、最高齢の80歳で参加です。みんないつまでも若くいたいと思ひ活動しています」。



葵流

葵 蓉鴛さん(北園町)「音楽祭は会員にとっても非常に大きな発表の場です」。



ロック・コンサート

MOZ'のみなさん

平均年齢52歳のベンチャーズのバンドです。気持ちよく演奏できて最高でした。



日本音楽コンサート

菊水流津山地区会
原田奈苗さん(左・東中1年)
田部祥子さん(右・高倉小5年)
大勢の前で少し緊張しましたが、上手にできたと思います。



オープニング・コンサート

祝祭管弦楽団・谷口雄介さん(津山高専4年)

クラシックは初めての経験でしたが本番もリラックスして楽しめました。生涯打楽器です!!

いないいないばあっ！ワンワンとあそぼうショー

観客席に下りてきたワンワンに子どもたちも大歓声!!



佐藤美枝子、《荒城の月》を歌う

懐かしい日本歌曲、本格的なオペラ歌曲にうっとり。



渡邊暁雄の子供たち

今回は家族のつながりも特色の1つでした。



財津和夫コンサート

「心の旅」「青春の影」など懐かしい歌にファンも浸りました。



山本邦山とその家族

人間国宝・山本邦山さんの静かながらも力強い演奏に聴き入りました。

大阪センチュリー交響楽団音楽プレゼント

美作地域6か所で開催された音楽プレゼント。高倉小学校では、地域の人たちもいっしょに「大きな古時計」を歌う場面もありました。



音楽プレゼント



則本真歩さん(高倉小6年)

音が広がってすごくきれいだなぁと思いました。「千と千尋の神隠し」の曲が印象に残りました。



鶴山中学校吹奏楽部のみなさん(中央は指揮者の木村吉宏さん)

大人数で迫力がありました。他の学校の方がすごく上手で、いい勉強になりました。

プロの演奏に酔いしれる



ブラスフェスティバル



5中学校合同演奏では、総勢231人の中学生が一同に演奏。

指揮者の木村吉宏さん「すごかったです。中学生の可能性を感じることでできた演奏でした」。



三枝成彰さん作曲の「Five rings」は三枝さん本人を迎えて演奏されました。



指揮者の時任康文さん

時任さんは一般の部、高校の部の指揮も。「津山の高校生の目はキラキラしている。楽譜を読むとき、なぜフォルテか、なぜその音なのか、小説を読むように楽譜を読んでほしい」とメッセージを送りました。

ブラスフェスティバル



津山シティープラス 藤木美恵子さん(左・高野山西) 青山里実さん(右・久米南町)

時任先生にも指導していただき、とても勉強になりました。すごく楽しんで演奏できました。

特集

”未来に架ける人の輪・音の輪“
第6回 津山国際総合音楽祭

新しい音楽と出会う

NHK交響楽団演奏会



オンド・マルトノの世界



世界的なオンド・マルトノ奏者ハラダ タカシさんの美しい演奏。休憩時には多くの人が舞台上に近づき、オンド・マルトノを見る一幕も。

フォーレ：レクイエム演奏会

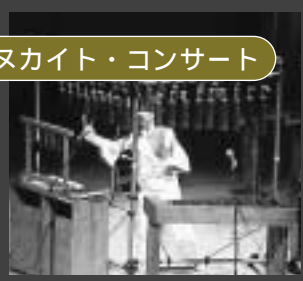


矢崎彦太郎さん指揮、大阪センチュリー交響楽団の演奏。合唱は公募で集まった音楽祭市民合唱団のみなさん。何か月もかけてこの日のために練習を重ねてきました。

藤井むつ子

マリンバとサヌカイト・コンサート

透明感あふれる音と演奏技術が聴衆を引き込みました。



南インド古典音楽



神の声を伝えるといわれる南インド古典音楽。場内は不思議な音色に包まれました。

祈りの曲に包まれる



ダブルリード・コンクール優勝者の久寿米木知子さんの披露演奏もありました。
「少し緊張しましたが、最高の演奏ができました。」

ロックのミサ



クロージング・コンサート



若杉弘さん指揮、大阪フィルハーモニー交響楽団によって最後に演奏されたのは、マーラーの交響曲第7番。初回からの音楽祭で、マーラーが完成した交響曲すべてが演奏されたこととなります。



「津山讃」
この音楽祭で新しい津山の歌「津山讃」が生まれました。

民謡コンサート



山本寛之さん

「津山のまちのシンボルを歌い込み、四季を織り込んで作りました。そして、曲を民謡界屈指の千藤幸蔵先生と山本寛之先生が詞をアレンジしながら作ってくれました。この歌が多くの人に口ずさまれ、成長していくように願っています」。



作詞者の田中英機さん

レクイエム演奏会



頃安成子さん(下横野) 充実感いっぱい幸せです。

オンド・マルトノの世界



中川菜穂子さん(左・上河原) 今村珠美さん(右・総社)

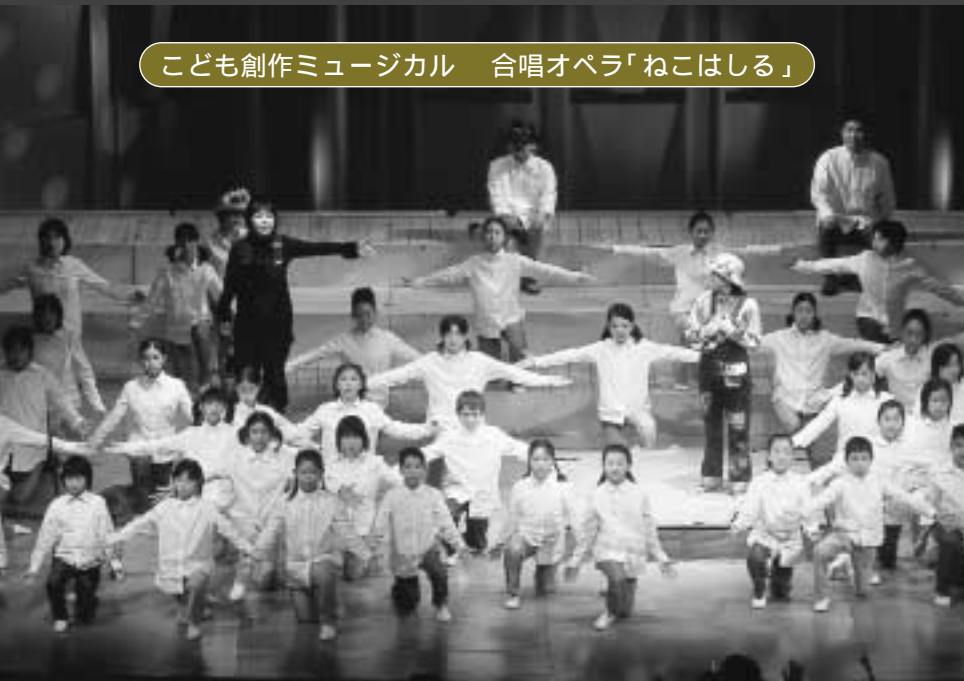
音大のときの友だちと来ました。オンド・マルトノは初めてです。幻想的で不思議な音がしますね。

民謡コンサート



藤原良枝さん(川崎)
新しくできた「津山讃」はメロディーもなじみやすくよかったです。津山の人たちの中で広まって根付いていったらいいですね。山本先生も初めて見れて感激しました。

こども創作ミュージカル 合唱オペラ「ねこはしる」



NHK交響楽団の演奏は第1回の音楽祭(1987年)以来でした。

レクチャー・コンサート



◀ 音楽監督の船山隆さんとコンポーザー・イン・レジデンスの三枝成彰さん

さまざまな催し

作曲家のアトリエ



音楽祭の間、津山に滞在してアルネ・津山の一室で公開した作曲活動。多くの人を訪れました。



秋山恵子さん(左・作陽高校3年) 神田遥さん(右・作陽高校1年) ずっと練習してきました。みんな本当によくがんばりました。今日は、今までで一番いい歌が歌えたと思います。



多くのボランティアの協力がありました



三枝成彰さん

今回の音楽祭のコンポーザー・イン・レジデンスを務めるということで、津山には初めて来ました。

地方で行われる音楽祭は数々ありますが、この音楽祭の立派さ、志の高さにまず驚きました。このような素晴らしい音楽祭を継続してやっているところはたいへん珍しく、まれに見る音楽祭だと感じました。

合唱オペラ「ねこはしる」



西川亜衣さん(左・東中1年) 小林麻美さん(右・北陵中3年)

最初はむずかしかったけど、みんなで協力してちゃんとできました。今は胸がいっぱいで最高です。

NHK交響楽団演奏会



高山琢三さん・真佐子さん(川崎)

NHK交響楽団の演奏は津山では初めて聞きました。素晴らしい生の演奏を聞くことができました。観客のマナーもよかったですと思います。